

4. 愛知環状鉄道と沿線地域づくりの課題

■ 基本的課題

愛知環状鉄道の利便性向上と利用者増加のスパイラルアップを!!
そして、地域から親しまれる鉄道を活用して地域活力の向上を!!

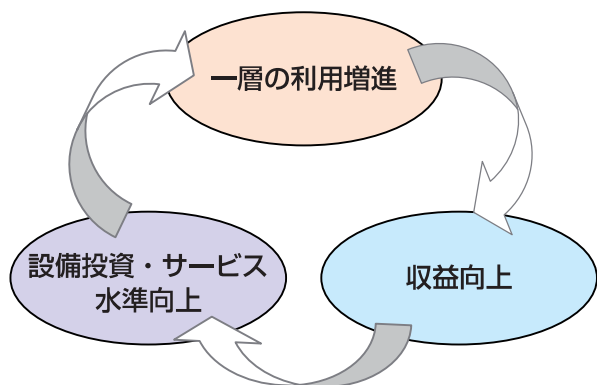
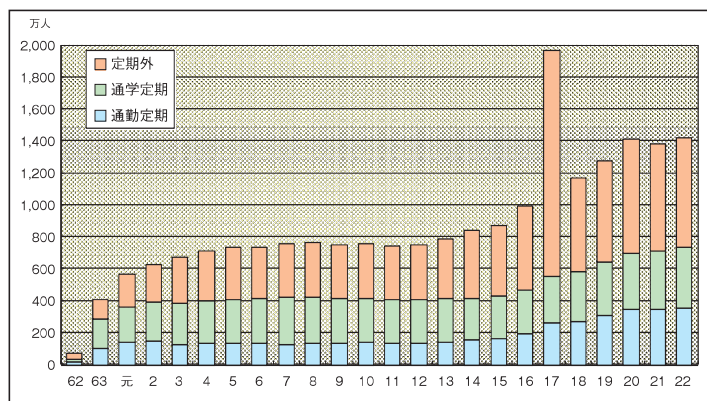


図 年度別の年間輸送人員の推移



■ 個別課題

□ 高速公共交通へのアクセス時間短縮による沿線地域の活力アップ!!

- ➡ 中部国際空港、名古屋駅等（東海道新幹線・リニア中央新幹線）への時間短縮により地域の国際化、地域間交流を支援

都市間競争はグローバル化の時代。沿線地域が今後とも「世界的なものづくりイノベーションの拠点」であり続けるためには、空港や高速鉄道へのアクセスのしやすさは必須の条件です。しかしながら、高度な産業及び研究開発機能が集積する豊田市を中心とした沿線地域は、この条件を満たしていないため、その改善が重要な課題です。

□ 沿線開発プロジェクトの促進による地域の魅力アップ!!

- ➡ 沿線開発等により地域の一層の魅力アップを図り、地域全体のにぎわいや活気を創出

沿線地域がにぎわいと活気にあふれ、持続的な発展を続けていくためには、各市等が計画する沿線開発プロジェクトを推進し、定住・交流人口の増加を図っていくことが必要です。こうした取組は、ひいては愛知環状鉄道の利便性の向上の取組との相乗効果により、地域活力の向上につながる効果が期待されます。

□ マイカー通勤の削減(公共交通への転換)による渋滞の緩和と環境負荷の低減!!

- ➡ 愛知環状鉄道を基軸とする地域内移動の円滑化により、通勤通学時の遅延によるストレスからの解消を支援

沿線の各市では、朝夕の通勤ピーク時の道路渋滞は慢性化しており、地域の生活交通や産業交通の円滑な流れに支障をきたしています。交通の滞りは走行時間の定時性を大きく損なうことになり、通勤通学時にストレスや時間的ロスをもたらすと同時にCO₂排出量を増加させることになるため、マイカー通勤から公共交通利用へ少しでも転換させることで、道路渋滞を軽減する必要があります。

□ 観光資源・学術研究機関へのアクセス確保・時間短縮による交流の促進!!

- ➡ 市街地内や中山間地域に位置する観光資源や大学等の学術研究機関へアクセスする公共交通の利便性向上により、来訪者の増加など交流人口を拡大

都市の活力の維持向上を図るためには、産業の振興に加え観光交流や学術交流も重要です。こうした交流促進のため、自動車に頼らない利便性の高い公共交通ネットワークの構築が必要です。

5. 基本方針（沿線地域全体の目標）

<ビジョン1>

愛知環状鉄道を沿線4市の「連携軸」に!!

- 沿線4市が一体となった交通・観光・産業分野での施策連携の推進
- 地域資源を活用した沿線地域としての新たなブランドの確立
- リニモ沿線地域等との広域連携

<ビジョン2>

愛知環状鉄道を生活交通の「基幹軸」に!!

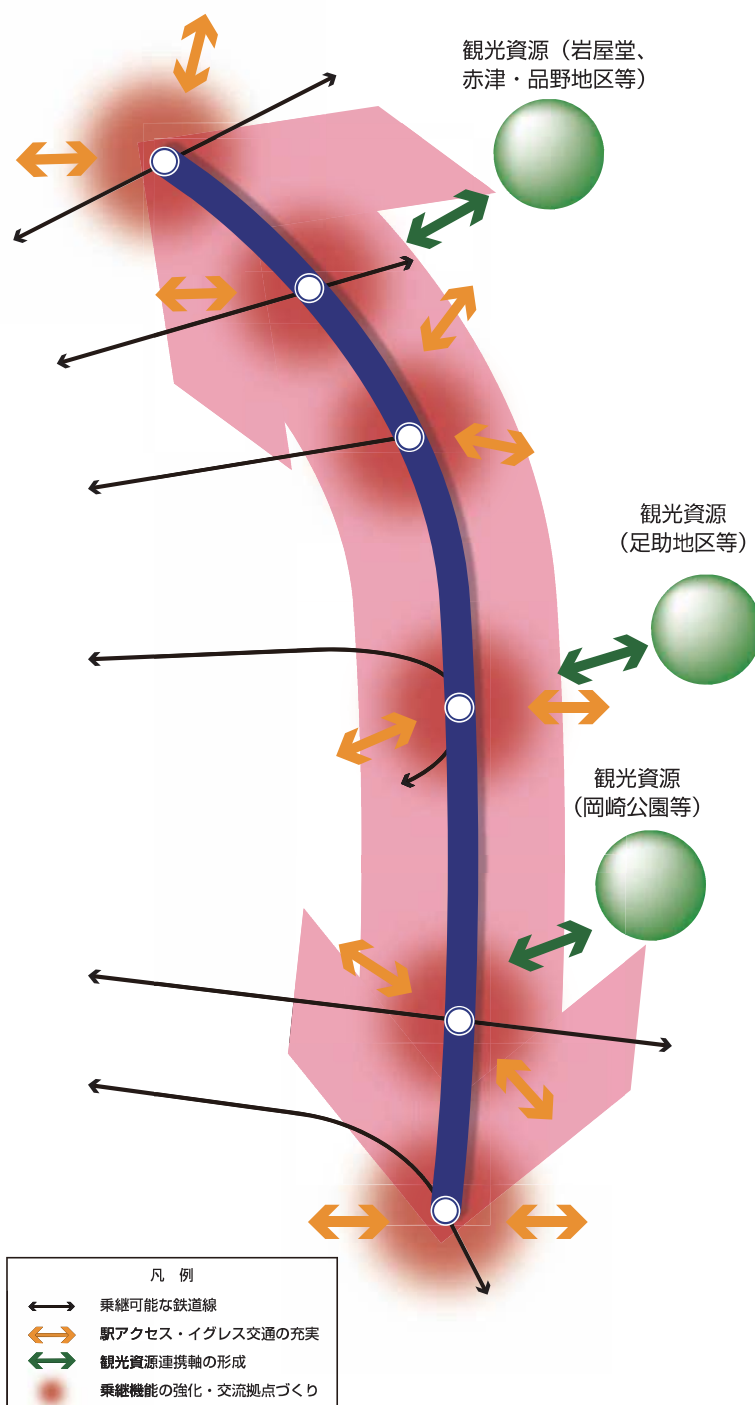
- 全線にわたるリニューアルで安全安定輸送の維持向上
- 愛知環状鉄道の高速度化や輸送力強化等によるサービス水準の向上
- 駅と接続するバス交通の充実
- 鉄道・車との乗り継ぎ利便性向上（鉄道と車の賢い使い分け）
- 主要駅等でのよりきめの細かいバリアフリー化の推進

<ビジョン3>

愛知環状鉄道を地域活力の「交流軸」に!!

- 名古屋市につながる6本の鉄道相互をつなぐ連携軸・交流軸としての機能の向上（都市間交流活性化）
- 愛知環状鉄道主要駅周辺での交流拠点づくり（各駅の機能・役割に応じたまちづくりの推進）
- 地域の観光資源につながる交通ネットワークを愛知環状鉄道を軸に形成
- 沿線に立地する大学、企業等につながる交通ネットワークを愛知環状鉄道を軸に形成

連携イメージ図



7. ビジョンの実現に向けて

■ 当面の取組

〈ビジョン1〉 愛知環状鉄道を沿線4市の「連携軸」に

- 鉄道事業者・県・沿線市で連携した愛環の利用促進の普及啓発活動
- 広域連携による観光プロモーションの実施
- 沿線地域の特産品等の連携・融合による新商品の開発
- リニモ沿線地域と連携した公共交通の利用促進の普及啓発活動

〈ビジョン2〉 愛知環状鉄道を生活交通の「基幹軸」に

- 安全安定輸送の維持向上に対する沿線自治体の支援
- ダイヤの充実及びICカード導入に向けた検討
- 鉄道とバスの乗り継ぎの円滑化に向けた検討・改善
- パーク&ライド駐車場の整備・充実
- エレベーターや多機能トイレ等の設置

〈ビジョン3〉 愛知環状鉄道を地域活力の「交流軸」に

- JR・名鉄・リニモと連携した沿線ウォーキング大会の実施
- 沿線住民との協働による駅周辺の快適な環境づくりの推進
- 地域の観光資源の魅力を発信する着地型観光の推進
- 沿線イベントとタイアップした特産品の合同販売会の開催
- 車両・車内広告や駅構内広告の推進
- 沿線マップや観光ガイド等を活用した沿線のPR
- 沿線施設へのコンベンション・イベント等の誘致
- 知の拠点及び沿線大学との連携による新技術、新製品の開発
- 沿線イベントへの大学、企業等の参画の推進

問合せ先

愛知県	地域振興部交通対策課	(〒460-8501)	名古屋市中区三の丸三丁目1番2号	電話052-954-6127)
岡崎市	都市整備部交通政策室	(〒444-8601)	岡崎市十王町二丁目9番地	電話0564-23-6486)
瀬戸市	市民生活部生活課	(〒489-8701)	瀬戸市追分町64番地の1	電話0561-88-2666)
春日井市	総務部交通対策課	(〒486-8686)	春日井市鳥居松町5丁目44番地	電話0568-85-6052)
豊田市	都市整備部交通政策課	(〒471-8501)	豊田市西町三丁目60番地	電話0565-34-6603)